

2020年度 事業報告書

特定非営利活動法人 アジアキリスト教教育基金

1 事業の成果

2020年度は、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大による全ての活動停止に始まり、コロナ禍への対応とコロナ禍でも可能な形での活動の適応へと移っていった。創立30周年を迎えたが、これまで通りの活動ができない中、これまでの活動を見直し新たな活動を模索しながら、新たなビジョン・ミッションと中期計画を作り出すワークショップを開催する良い機会になったとも言える。

支援しているバングラデシュの6地区43校のBDP小学校は、バングラデシュ政府の判断により完全に休校の状態が続いたが、再開に向けての衛生施設の整備やマスクの配布を行った。職業訓練校については既存の2校に加え新しく1校の開校を支援した。またBDPが学校の保護者と教師向けマイクロファイナンス（小口融資）事業を開始するにあたり、能力強化研修と原資の支援を行った。

創立30周年を記念して記録集を発行、パネル展を開催した。記念行事はオンラインでの開催となり、それ以外の全てのイベントがオンラインでの開催となった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用 34,287 千円)

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
アジアの開発途上国への教育支援事業	バングラデシュの初等教育支援	休校	バングラデシュ各地	200人	小学校43校の在籍者	約5,000人	17,268
	コロナ対策支援						5,078
	職業訓練	11月～10月～1,2月	3地区	7人	職業訓練生	51人	4,055
	マイクロファイナンス		バ各地	21人	マイクロファイナンス・グループメンバー	1,784人	3,802
教師研修実施	カティラ	5人		BDP教師	11人	373	
国際協力への理解、参加を促進するための事業	学生スタディツアーの企画、運営（代替キャンプ）	3月	西那須野	4人	スタディツアー参加	11人	271
	アジアの開発途上国に関する国際協力の理解についての講演会、セミナー、シンポジウムなどの開催事業	4月 5月 10月 11月 2月 3月	オンライン 東京	9人	国内の一般市民 セミナー・勉強会参加者	114人	1,700
アジアの開発途上国に関する普及、啓発事業	機関紙の発行 SNSでの情報発信	7,11月 通年	法人事務所	10人	会員・寄附者一般市民	3,000人以上	1,507
	バングラデシュで作られた手工芸品の紹介、提供	通年	日本各地	9人	国内一般市民バザー参加者	-	233